

口腔衛生学

責任者名：川戸 貴行

学期：前期

対象学年：3年

授業形式等：講義

◆担当教員

川戸 貴行(衛生学 教授)

田中 秀樹(衛生学 准教授)

中井 久美子(衛生学 助教)

尾崎 愛美(衛生学 助教)

本橋 正史(衛生学 兼任講師)

森田 十誉子(衛生学 兼任講師)

◆一般目標 (GIO)

歯科医師として歯科疾患の発生要因に基づいた保健指導と予防処置の実施，ならびに衛生活動の計画・立案に参画するために，疾患の発症に影響する宿主・環境要因について理解するとともに，全身ならびに口腔の健康と機能の維持増進の意義を認識する。

◆到達目標 (SBO s)

- ・口腔衛生(保健)学の定義と目標を説明できる。
- ・健康増進施策に関連する重要な事項（予防の水準を含む）を列挙し，その考え方を説明できる。
- ・口腔と全身の健康の関連性を具体的に述べることができる。
- ・齲蝕と歯周病を中心とする歯科疾患の予防法を病因論と予防の水準に関連付けながら説明できる。
- ・口腔の疾病・異常とそのリスク因子の評価（疫学指標を含む）の方法を具体的に述べるができる。
- ・疫学研究法の種類と特徴を具体的に列挙し、結果が持つ意味を説明できる。
- ・歯科疾患の疫学的特徴を保健統計調査の結果と関連付けて説明できる。
- ・母子歯科保健，学校歯科保健，産業歯科保健，成人・高齢者歯科保健，障害者歯科保健を説明できる。

◆評価方法

平常試験（2回の試験で50%，試験範囲は第9回と21回に記載），振り返りシートへの記載と提出（2回で10%），および提出物（40%）で評価する。平常試験では，試験後に各自が記入，提出する振り返りシートにコメントを付してフィードバックする。

公欠以外で欠席した場合には減点する。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
川戸 貴行	木曜日 17:00~18:00 1号館2階 衛生学講座		
田中 秀樹	木曜日 17:00~18:00 1号館2階 衛生学講座		

中井 久美子	木曜日 17:00~18:00 1号館2階 衛生学講座		
尾崎 愛美	木曜日 17:00~18:00 1号館2階 衛生学講座		
本橋 正史	質問等は授業終了直後に受ける。		
森田 十誉子	質問等は授業終了直後に受ける。		

◆授業の方法

教科書および要点を記載したプリントまたはスクリーン投影資料をもとに毎回の授業を進め、2回の平常試験で理解度の確認と振り返りを行う。

地域保健での保健管理と保健指導、または歯科臨床での予防処置などの衛生活動の経験を有する教員が、疾病予防と健康増進の概念・基礎的知識と活動の実際とを結びつけながら講義を進める。

【実務経験】

川戸 貴行：歯科医師として法定歯科検診に従事した経験から、歯科保健の実際を説明したいと考えています。

田中 秀樹：歯科医師として法定歯科検診に従事した経験から、歯科保健の実際を説明したいと考えています。

中井久美子：歯科医師として法定歯科検診に従事した経験から、歯科保健の実際を説明したいと考えています。

尾崎 愛美：歯科医師として法定歯科検診に従事した経験から、歯科保健の実際を説明したいと考えています。

本橋 正史：歯科医師として法定歯科検診に従事した経験から、歯科保健の実際を説明したいと考えています。

◆教材（教科書、参考図書、プリント等）

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
教科書 1	口腔衛生学 2020	松久保 隆、八重垣健、前野 正夫、他	一世出版	2020
参考書 1	口腔保健・予防歯科学	安井利一、宮崎秀夫、山下喜久、他	医歯薬出版株式会社	2017
参考書 2	口腔診査法(5)	小川祐司、眞木吉信・宮崎秀夫、他 (訳)	口腔保健協会	2016
参考書 3	ミュータンスレンサ球菌の臨床生物学	花田信弘、今井奨、西沢俊樹、他	クインテッセンス出版	2003

◆DP・CP

コンピテンス：論理的・批判的思考力

コンピテンス：多岐にわたる知識や情報を基に、論理的な思考や批判的な思考ができる。

CP3

幅広い教養と歯科医療に必要な体系的な知識を基に、論理的・批判的思考力と総合的な判断能力を育成する。

◆準備学習(予習・復習)

予習として各授業回の学習項目と学修到達目標からキーワードを抽出し、教科書等で確認しておくこと。

復習として各授業回で理解が不足している事項について復習するとともに、各授業内容が歯科医師国家試験でどのように問われているかを確認すること。

◆準備学習時間

各授業回で1時間の予習と1時間の復習、合計60時間を準備学習時間にあてること。

◆全学年を通しての関連教科

第2学年 後期 プロフェッショナリズムと行動科学

第3学年 前期 公衆衛生学

第3学年 前期 ベーシックカリオロジー

第6学年 前期 地域保健学

◆予定表

回	クラス	月日	時間	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1		5.14	1	1. 口腔衛生(保健)学の定義と目標 (教1) pp.24-25 2. 口腔機能の維持増進の意義 (教1) pp.110-113 3. 口腔機能と発育 (教1) pp.115-118	・口腔衛生学の領域と目標を理解し、説明できる。 ・口腔機能の維持の意義を理解し、説明できる。 ・歯の発生、萌出、交換の基礎知識を確認し、要点を列挙できる。 ・顎骨の発育と成長の特徴を理解して、要点を列挙できる。 ・味覚、発音、摂食・嚥下について理解し、説明できる。	川戸 貴行	B-1-2) 健康の概念
2		5.14	2	4. 口腔環境 1)唾液 2)歯質 3)歯周組織 (教1) pp.120-	・口腔の健康に影響する唾液と歯質の基礎知識を確認し、口腔の機能と関連づけることができる。 ・歯周組織の基礎知識を確認し、要点を列挙できる。	川戸 貴行	B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度

				127			
3		5.21	1	5. バイオフィルムと病原微生物 (教1) pp.128-134	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオフィルム形成過程を学び、説明できる。 ・歯の沈着物の種類を学び、要点を列挙できる。 ・歯垢の成熟過程における微生物叢の変動を学び、説明できる。 ・歯垢と歯石の形成機序と付着部位による性質の違いを理解し、その病原性を推論できる。 	川戸 貴行	B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理
4		5.21	2	6. 口腔の2大疾患 1) 齲蝕の病因論 (教1) pp.152-155 2) う蝕と食事要因 (教1) pp.138-143 3) 歯周病の病因論 (教1) pp.156-161 4) 歯周病原性微生物 (教1) pp.135-137	<ul style="list-style-type: none"> ・齲蝕の3要因を理解し、説明できる。 ・歯周病の3要因を学び、要点を列挙できる。 ・歯肉炎と歯周炎の違いを理解し、説明できる。 	川戸 貴行	B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理
5		5.28	1	7. 歯周病のリスク評価と予防 (教1) pp.248-255 8. スケーリング (教1) pp.288-290 9. 機械的歯面清掃法(PMTC) (教1) pp.265-267	<ul style="list-style-type: none"> ・歯周疾患のリスク診断の概念を理解し、説明できる。 ・歯周病の予防と治療で行われるスケーリングの概要を知り、要点を列挙できる。 ・専門家による機械的歯面清掃法の目的と方法を学び、説明できる。 	中井 久美子	B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理
6		5.28	2	10. 口腔清掃 (教1) pp.301-311	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科疾患の予防の基本となる歯口清掃の意義を理解し、説明できる。 ・歯口清掃の方法や各刷掃器材の特 	尾崎 愛美	B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理

					徴について学び、要点を列挙できる。		
7		6.4	1	11. 歯科疾患の予防方法の特徴 1)セルフケア, プロフェッショナルケア, パブリックケア 2)口腔ケア (教1) pp.260-264 3)周術期の口腔ケア (教1) pp.178-179	・セルフケア, プロフェッショナルケア, パブリックケアの概念とそれぞれの特徴について学び, 弁別できる。 ・口腔ケアの定義, 種類, 方法について知り, 説明できる。 ・周術期の口腔ケアの重要性を学び, 歯科医師の役割を説明できる。	川戸 貴行	B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理
8		6.4	2	12. 口臭 1)口臭の原因と分類 2)口臭の測定法 3)口臭の治療法と予防法 (教1) pp.144-150	・口臭分類について理解し, 口臭の原因となる口腔局所および全身因子の具体例を学び, 要点を列挙できる。 ・口臭の測定法と, 原因に基づいた口臭の除去とその予防法について学び, 説明できる。	川戸 貴行	B-3-1) 予防の概念
9		6.11	1	平常試験1と振り返り	・第1~8回の範囲について, 試験により知識の修得度を確認する。 ・平常試験を受けることで理解が不十分と自覚された項目を, 振り返りシートに書き出す。 ・授業資料とノートをもとに抽出された事項を再確認する。 ・提出された振り返りシートは, 平常試験のフィードバックコメントを付して返却する。	川戸 貴行 田中 秀樹 中井 久美子 尾崎 愛美	
10		6.11	2	13. その他の口腔疾患 1)口腔がん 2)口内炎 3)顎関節症 4)不正咬合	・口腔がん, 口内炎, 顎関節症, 不正咬合の各分類と特徴について学び, 要点を列挙できる。 ・咀嚼をはじめとする口腔機能の評価法について学び, 説明できる。	川戸 貴行	B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理

				(教1) pp.256_258 14. 口腔機能の評価 (教1) pp.223-228			
11		6.18	1	15. 齲蝕の疫学指標 1) 齲蝕経験の概念 2) 齲蝕経験を用いた指標 3) 齲蝕増量指数 4) 齲蝕抑制率 (教1) pp.196-199	<ul style="list-style-type: none"> ・ 齲蝕の疫学指標の基本となる齲蝕経験の概念について理解し、説明できる。 ・ 齲蝕経験に基づく指標、齲蝕増量指数、齲蝕抑制率について理解する。 ・ 齲蝕の疫学指標による集団特性の評価法を学び、事例から算出できる。 	中井 久美子	B-4-1) 歯科疾患の疫学
12		6.18	2	16. 歯周疾患の疫学指標 1) PMA 指数 2) GI 3) CPI 4) PI (教1) pp.200-205	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯周疾患に関する代表的な疫学指標の使用目的と特徴を学び、説明できる。 ・ 歯肉炎と歯周炎に関する指標の診査基準を理解し、指標による集団特性の評価法を学び、事例から算出できる。 	尾崎 愛美	B-4-1) 歯科疾患の疫学
13		6.25	1	17. 歯口清掃状態の疫学指標 1) OHI 2) OHI-S 3) PHP 4) PCR (教1) pp.206-209 その他の口腔の状態を表す指標 (教1) pp.210-211	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯口清掃状況に関する代表的な疫学指標の使用目的と特徴を理解し、説明できる。 ・ 歯口清掃状態の各指標の診査基準を理解し、それによる集団特性の評価法について学び、事例から算出できる。 ・ 患者の歯口清掃状態を評価するための指標を理解し、事例から算出できる。 ・ 歯のフッ素症の流行状況の評価法を学び、事例から算出できる。 ・ 咬合異常の疫学的指標について理解し、要点を列挙できる。 	田中 秀樹	B-4-1) 歯科疾患の疫学
14		6.25	2	18. わが国の口腔の健康状態と保健	<ul style="list-style-type: none"> ・ 口腔保健に関する各種保健統計調査について知り、要点を列挙でき 	川戸 貴行	B-4-2) 保健医療統計

				<p>行動の動向</p> <p>1) 歯科疾患実態調査</p> <p>2) 学校保健統計調査</p> <p>(教1) pp.57-80</p>	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本人の口腔の健康状態の現状を歯科疾患実態調査と学校保健統計調査から知り、要点を列挙できる。 ・歯科疾患の疫学的特徴を理解し、病因論と関連付けて説明できる。 		
15		7.2	1	<p>19. 健康施策における歯・口の健康の取り組み</p> <p>1) 健康日本 21</p> <p>(教1) pp.39-44</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の健康増進対策である健康日本 21 の概要を知り、要点を列挙できる。 ・健康日本 21 における歯・口の健康の取り組みを具体的な目標項目とともに理解し、説明できる。 	川戸 貴行	
16		7.2	2	<p>20. 疫学</p> <p>1) 疫学の目的</p> <p>2) 疫学要因</p> <p>3) 疫学の役割</p> <p>4) 疫学研究と倫理</p> <p>(教1) p.84</p> <p>20. 疫学の地域歯科保健での応用</p> <p>1) 疫学指標</p> <p>2) 記述疫学と分析疫学</p> <p>(教1) p.84</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・疫学の概念を知り、地域歯科保健と歯科臨床における疫学の役割を理解できる。 ・疾病原因の多要因性と疫学的要因の分類法を説明できる。 ・疫学研究の倫理指針を説明できる。 ・疫学指標で歯科疾患の頻度の測定法の基本を理解できる。 ・指標の具備条件を理解し、率、比、平均値の応用、有病率と罹患率の違いを理解できる。 ・記述疫学と分析疫学の目的を理解できる。 	田中 秀樹	B-4-1) 歯科疾患の疫学
17		7.9	1	<p>21. 歯科疾患と因子の因果関係</p> <p>(教1) p.84</p> <p>22. 疫学研究のデザイン-1</p> <p>1) 横断研究</p> <p>(教1) p.87</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・疫学研究の分類と各研究方法の特徴について理解できる。 ・因果関係の評価について理解できる。 ・因果関係の疫学的証明方法について理解できる。 ・横断研究の方法と特徴について理解し、歯科疾患に応用する方法を説明できる。 	田中 秀樹	B-4-1) 歯科疾患の疫学
18		7.9	2	<p>23. 疫学研究のデザイン-2</p> <p>1) コホート研究と相対危険度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コホート研究の方法と特徴について理解できる。 ・コホート研究で用いられるリスク指標である相対危険度について理解 	田中 秀樹	B-4-1) 歯科疾患の疫学

				(教1) p.87	できる。 ・歯科疾患にコホート研究を応用する方法を説明できる。		
19		7.16	1	24. 疫学研究のデザイン 1)症例・対照研究とオッズ比 (教1) p.87	・症例・対照研究の方法と特徴について理解できる。 ・歯科分野における症例・対照研究で用いられるリスク指標のオッズ比について理解できる。 ・歯科疾患について症例対照研究を応用する方法を説明できる。	田中 秀樹	B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理
20		7.16	2	28. 生活習慣と歯科疾患 (教1) pp.81-82 29. 歯周疾患と全身疾患 1)糖尿病 2)心血管系疾患 3)呼吸器感染症 4)骨粗鬆症 5)早産・低体重児出産 (教1) pp.174-179	・生活習慣(食習慣, 喫煙, ストレス)と歯科疾患との関連性を学び, 説明できる。 ・歯周病は, 糖尿病, 心血管系疾患, 呼吸器感染症, 骨粗鬆症などの全身疾患の発症や進行に関連性があることを理解し, 説明できる。 ・歯周病は早産・低体重児出産とも関連性があることを学び, 説明できる。 ・歯科疾患の予防が生活習慣病の予防に寄与することを学び, 説明できる。	川戸 貴行	B-4-1) 歯科疾患の疫学
21		7.30	1	平常試験2と振り返り	・第9~20回の範囲について, 試験により知識の修得度を確認する。 ・平常試験を受けることで理解が不十分と自覚された項目を, 振り返りシートに書き出す。 ・授業資料とノートをもとに抽出された事項を再確認する。 ・提出された振り返りシートは, 平常試験のフィードバックコメントを付して返却する。	川戸 貴行 田中 秀樹 中井 久美子 尾崎 愛美	B-4-1) 歯科疾患の疫学
22		7.30	2	30.歯周病とメタボリックシンドローム 1)メタボリックシンドロームの概念	・メタボリックシンドロームの概念と対策の重要性について理解し, 説明できる。 ・ハイリスクストラテジーの概念に基づくメタボリックシンドローム対	森田 十誉子	B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理

				<p>2)特定健康診査特定保健指導</p> <p>3)ハイリスクストラテジーとポピュレーションストラテジー</p> <p>4)歯周病とメタボリックシンドロームの関連性 (教1) pp.45-46, 176-177</p>	<p>策である特定健康診査特定保健指導について知り、ポピュレーションストラテジーとの違いを理解し、説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯周病とメタボリックシンドロームとの間に関連性があることを、横断研究 (J Pub Health Dent 69, 248-253, 2009) とコホート研究 (J Periodontol 84, 512-519, 2010) の結果から学び、事例から疫学指標を算出できる。 		
23		8.6	1	<p>31. 疾病の自然史と予防のレベル (教1) pp.54-56</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・疾病の自然史と第1次予防、第2次予防および第3次予防の概念を学び、歯科疾患の予防と関連付けて説明できる。 	川戸 貴行	B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理
24		8.6	2	<p>32. 健康教育 (教1) pp. 46-53</p> <p>33. 保健行動とその評価 (教1) pp. 212-218</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康教育の変遷 (知識普及, KAPモデル, プリシード・プロシードモデル, 健康学習) について学び、説明できる。 ・歯科保健における行動科学の必要性を理解し、説明できる。 ・歯科保健における保健指導・保健教育の目的・意義を理解し、プロセスの基本について学び、要点を列挙できる。 	川戸 貴行	B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理
25		8.13	1	<p>34. 健康づくり(健康増進施策)と歯科保健</p> <p>1)歯科口腔保健の推進に関する法律</p> <p>2)健康づくり(健康増進施策) (教1) pp.26-36</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔の健康の保持の推進に関する施策を進めるための法律である歯科口腔保健の推進に関する法律の制定の背景と趣旨を理解し、要点を列挙できる。 ・健康増進施策の世界的潮流とわが国の施策を学び、要点を列挙できる。 ・健康増進施策に関連する重要事項 (ヘルスプロモーション, プライマリヘルスケア) を理解し、要点を列挙できる。 	川戸 貴行	B-2-4) 環境と健康
26		8.13	2	<p>35. 口腔保健に関する公衆衛生活動-</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・わが国における口腔保健に関する公衆衛生活動の分野と内容の概要に 	川戸 貴行	B-2-4) 環境と健康

				1 1)地域における口腔保健の概要 2)母子歯科保健 (教1) pp.353-365	ついて知り、要点を列挙できる。 ・母子歯科保健の問題点と活動内容の特徴について理解し、説明できる。		
27		8.20	1	37. 口腔保健に関する公衆衛生活動-3 1)産業歯科保健 教1) pp.382-388 2)成人・高齢者歯科保健 教1) pp.391-394 3)障害者歯科保健 教1) pp.411-413	・産業歯科保健の分野の問題点と活動内容の特徴について理解し、説明できる。 ・障害者歯科保健の分野の問題点と活動内容の特徴について理解し、説明できる。	田中 秀樹	B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理
28		8.20	2	36. 口腔保健に関する公衆衛生活動-2 1)学校歯科保健 (教1) pp.366-377	・学校歯科保健の問題点と活動内容の特徴について理解し、説明できる。	本橋 正史	B-4-1) 歯科疾患の疫学
29		8.27	1	25. 臨床疫学：EBM 1)臨床疫学の概要 2)EBM の概要 (教1) pp.102-108 26. 疫学研究における統計学的推測 (教1) pp.102-108	・臨床疫学とEBMの目的と方法を理解し、説明できる。 ・介入研究の方法と特徴について確認、理解を深め、説明できる。 ・歯科保健におけるフィールド介入研究と臨床試験の応用方法を学び、説明できる。 ・無作為化比較試験の方法と特徴について理解し、要点を列挙できる。 ・仮説検定および区間推定の目的と結果の解釈について学び、要点を列挙できる。	本橋 正史	B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理
30		8.27	2	27. 歯科集団健康診査の理論と実際 1)スクリーニング 2)歯科集団健康診査 (教1) pp.219-	・スクリーニング検査の目的を理解し、説明できる。 ・スクリーニング検査の信頼性の評価方法を理解し、説明できる。 ・地域保健における歯科集団健康診査の目的・意義について理解し、説	本橋 正史	B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理

			229	明できる。 ・ 歯科集団健康診査の方法の基本を 学び、要点を列挙できる。		
--	--	--	-----	--	--	--

